

石の文化と祈りの造形を追求する

# 月刊 石材

8

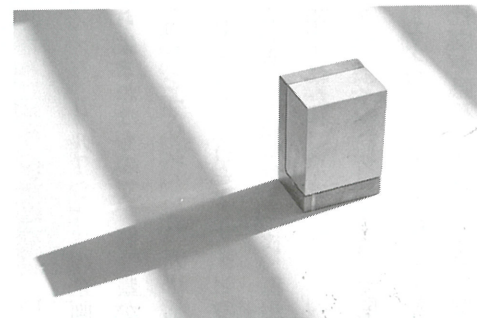
vol.515

帝国ホテル2代目本館  
ライト館開業100周年記念

## ライト館の大谷石



石に因んだ「硬い気持ち」をテーマに新作を発表した、PGG2023年春夏コレクションのカタログの表紙(右上)と、同カタログに掲載されている大理石模様のスポーツウェア(上)。同カタログには、関ヶ原石材の本社ショールームや原石置き場で行なわれたモデル撮影やイメージショット(右中)のほか、HSプロジェクト「ISHIZO」オンラインショップで販売されている大理石製のブックエンド(右下)なども掲載されている



性を保ちながらライフスタイルにも映えるよう設計されたファッションブランドで、同コレクションでは大理石模様など「石」をモチーフにした新作がリリースされている。

石のデザインが採用されたきっかけは、PGGのチーフデザイナー酒井昭征<sup>あきゆき</sup>さんが休暇中に訪れた山梨ジュエリーミュージアム(山梨県甲府市)で美しい色模様の鉱物や石製品を見て、その圧倒的な存在感と石の多様性、魅力に強く惹かれたことだった。もともと酒井さんは岐阜県大垣市の出身で、地元の金生<sup>きんしょう</sup>山で石灰岩や大理石が採れること、その石を貨物列車で運び出していることなどを幼少期から知っていたが、旅行先での運命的な出会いがきっかけとなって当時の記憶が新たな感動とともに蘇ってきた。

「石は道端に転がっている身近な存在ですが、地球が何億、何千万年という時間をかけて作り出した神秘的な存在であり、その一つひとつに名称があり、色模様や肌触り、硬さなど同じものは一つもありません。その多様な美しさと魅力を少しでも伝えたいと考え、最新の春夏コ



人気アパレル PGG が銀座の旗艦店に期間限定で開店したポップアップショップの店内(上)。「石」をモチーフにした春夏コレクションの世界を表現するため、天然石のウォールパネルやスツール、インテリア小物などを配置して装飾した。写真左は PGG チーフデザイナーの酒井さん(右)と、カタログ撮影などで協力した関ヶ原石材・企画マーケティング室の久川さん。両ブランドのコラボによるオリジナルTシャツも発売された

# 人気アパレル「PGG」と関ヶ原石材(株)がコラボ銀座の旗艦店を「石」で飾り、コラボTシャツも

東京・銀座で「アパレル」×「石」という異色のコラボ企画が実現した。(株)TSI(東京都港区、下地毅社長)が展開する人気のライフスタイルスポーツブランド「PGG (PERFECT PERFORMANCE GENUINE GENESIS)」と、大手の建築石材メーカー、関ヶ原石材(株)(本社=岐阜県関ヶ原町、小林亮太社長)が石の持つ魅力を発信するために立ち上げた「Hello Stone Project (以下、HSプロジェクト)」とのコラボで、銀座エリア最大の商業施設GINZA SIX内のPGG旗艦店(旗<sup>か</sup>艦<sup>かん</sup>店) (PGG GINZA SIX)では七月十四日から十日間、「石」をモチーフにしたポップアップショップ(期間限定店舗)がオープンし、2023年春夏コレクションの新作とともに両ブランドがコラボしたオリジナルTシャツなどが発売された。

PGGは、スポーツウェアに求められる機能



ポップアップショップ開店期間中は、関ヶ原石材の東京ショールームでもPGGの商品が展示された

として用意された。使い方はアイデア次第で、そのまま棚や小窓のうえに置けばオブジェになり、市販のマグネットを背面に接着すれば、世界に一つだけのオリジナルグッズとなる。

「銀座をはじめ、都内には石造りの建造物が多数あり、有名ブランド店の内外装にも当社が納入した石材がたくさん使われていますが、こうしたアパレル企業とのコラボは今回が初めて



商品とともに展示用ハンガーに吊るされた天然石の板材



コラボ商品の購入者にノベルティとして配られた石の端材



コラボ商品などを展示した東京ショールームのショーウィンドー

です。スタンド式の展示用ウォールパネルは搬出入や設置作業の利便性を考えて、七ミリの厚の板材をハニカム仕様で補強してあります。石製のツールは廃材を活用したものです。いずれも今回の企画用に製作したのですが、今後も別のイベントやショールーム等で活用していくつもりです。今回のコラボが建築石材の需要に直結するわけではありませんが、こうした

レクシオンは「硬い気持ち」をテーマとし、石をモチーフにした商品をデザインしました。そのテーマを表現するなかで関ヶ原石材さんの存在を知り、ご相談したところ、カタログなどの宣伝材料を撮影するロケ地として協力してもらえらることになりました。後日、同社の久川さん（管理企画部・企画マーケティング室・久川翼室長）に工場や展示場を案内してもらい、産業の歴史や石材の加工方法などについて詳しく説明していただいたのですが、その熱量がものすごく、石にはそうした情熱を注ぐだけの魅力や価値があることを改めて実感しました」

デザイナーの酒井さんはそう振り返る。

両ブランドによるオリジナルTシャツの企画もそうした流れから生まれたもので、個性豊かな石のバリエーションをプリントしたデザインと、石の柄をアレンジしたロゴデザインの二種類（着心地のよい吸水速乾素材、一枚・税込八千八百円）が商品化された。

完成した同コレクションのカタログは、一見すると建築石材のカタログのような仕上がりで、関ヶ原石材の社内や原石置き場などで行な

われたモデル撮影やイメージショット（挿絵）などの写真が多数掲載されている。また冒頭と巻末には春夏コレクションに対する酒井さんの想いが綴られており、テーマの意図とともに「PGGのこの服が、その石の魅力表現する一つになれば」というメッセージが記されている。

PGG GINZA SIX店では期間中、同コレクションをイメージしたアート風の装飾に変更し、店内正面の目立つ場所に天然石ならではの表情豊かなウォールパネル（高さ一八〇〇×幅五八〇ミリ）や石製のツールが設置されたほか、商品が並ぶハンガーに石材プレートと一緒に吊り下げるといった斬新な演出も見られた。展示用の棚にはHSプロジェクトが販売する石製のインテリア小物（花器やキャンドル立て、オブジェなど）や板石、自然石などをセンスよく展示し、オシャレな空間を演出。ブックエンドや積み石（積み木風の石製小物）は実際に購入できる商品として展示された。

またコラボ商品を購入された方への特典として、世界各国産の石の端材（コラボ企画のメッセージとともに真空パックしたもの）がノベルティ

異業種とのコラボが思わぬ化学反応を引き起こし、新たな展開やご縁が広がることを期待しています。何よりも石を身近に感じ、好きになってもらえる人が一人でも増えてくれればうれいですね」

関ヶ原石材の久川室長はそう話す。

なお、これらPGGの商品（コラボTシャツを含む）は、PGG GINZA SIX店のほか、PGG公式オンラインショップで購入できる。またコラボTシャツはHSプロジェクト・ISHIZOオンラインショップでも販売されている。

◎関ヶ原石材(株)

岐阜県不破郡関ヶ原町2682

<https://www.sekistone.com>

<https://www.hello.stone.jp> (Hello Stone)

<https://www.ishizo.online/ja> (ISHIZO)

オンラインショップ)

◎PGG GINZA SIX

東京都中央区銀座六丁目10-15F

<https://store.tsigs.com/pgg> (a tsigsサイト)

※同サイト内にオンラインショップあり